

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【公開番号】特開2020-14107(P2020-14107A)

【公開日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2018-134732(P2018-134732)

【国際特許分類】

H 04 R 1/10 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/10 101Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月17日(2020.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【図1】図1は、本発明の実施の形態に係るヘッドホンの実施例であるヘッドホン51の第1の状態を示す後面図である。

【図2】図2は、ヘッドホン51の第2の状態を示す後面図である。

【図3】図3は、ヘッドホン51の第1の状態におけるバンド12を示す部分斜視図である。

【図4】図4は、ヘッドホン51の第2の状態におけるバンド12を示す部分斜視図である。

【図5】図5は、ヘッドホン51が有するヘッドパッド11の縦断面図である。

【図6】図6は、図5におけるS6-S6位置での断面図である。

【図7】図7は、変形例のヘッドホン51Aの第1の状態を示す部分前面図である。

【図8】図8は、ヘッドホン51Aの第2の状態を示す部分前面図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(実施例)

ヘッドホン51の外観上の構成を、図1及び図2を参照して説明する。

図1及び図2は、ヘッドホン51のそれぞれ第1及び第2の状態を示す後面図である。

図1及び図2に示されるように、ヘッドホン51は、ヘッドバンド1と、ヘッドバンド1の左端に取り付けられた左耳用のハンガー部21及びハウジング31と、右端に取り付けられた右耳用のハンガー部21及びハウジング31と、を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

スリープ13は、外側溝部135を有する。外側溝部135は、ヘッドバンド1の外径側となる面において、前後方向の中央部にヘッドバンド1の内径側に向け抉られた部位である。外側溝部135は、スリープ頭部131の根本から基部132の右側端部近傍まで形成され、外側溝部135の右側端は、壁としての當て部134となっている。

當て部134は、スリープ13をスライドさせてヘッドパッド11から引き出したときに、設定された最大引き出し位置でストッパー112aに当接し、それ以上のスライドを規制する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

